令和８年度　環境保全計画書

１．環境経営基本方針（全社）
２．環境管理体制の現況
３．地球温暖化対策に係る計画
４．地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る計画

令和８年６月

株式会社神戸製鋼所

神戸本社地区

１．環境経営基本方針（全社）

『グループ環境経営の実践によるさらなる企業価値向上』
－グループの環境力向上－

KOBELCO グループは、環境先進企業グループとして
1．環境に配慮した生産活動
2．技術・製品・サービスでの環境への貢献
3．社会との共生・協調
を実践することにより、社会的責任を果たすと共に、
環境力を高め企業価値を向上させる。

＜実施事項＞

1．リスク管理の徹底
環境法令遵守の徹底に加え、事業活動に伴う環境リスクを把握し、リスク低減を図るとともに、適切な環境管理を実施する。

2．技術・製品・サービスでの環境への貢献
環境に配慮した技術・製品・サービスを提供することで環境に貢献する。

3．全員参加による取り組みの展開
省エネルギー・働きやすい職場環境づくりとしてエコオフィス活動や全従業員が環境に配慮した行動が行えるよう、環境教育・学習を継続し、職場風土の醸成に取り組む。

4．社会との共生・協調
森林整備活動や KOBELCO 森の童話大賞をはじめ、各地域での環境貢献活動や事業所近隣の清掃活動等を推進し、地域社会に貢献する。

5．あらゆる面で環境に配慮したものづくりの徹底
環境負荷の低減、地球温暖化対策、資源循環の促進などあらゆる面で環境に配慮したものづくりの徹底を図る。

6．環境関連情報の開示
環境関連情報の公開や地域社会、お客様とのコミュニケーションなどを通じて環境経営に関わる活動をステークホルダーの皆様に正しく伝える。

２．環境管理体制の現況

当社における環境管理体制は図１のとおりです。また、神戸本社地区における環境管理体制は全社環境管理組織に基づき図２のとおりです。

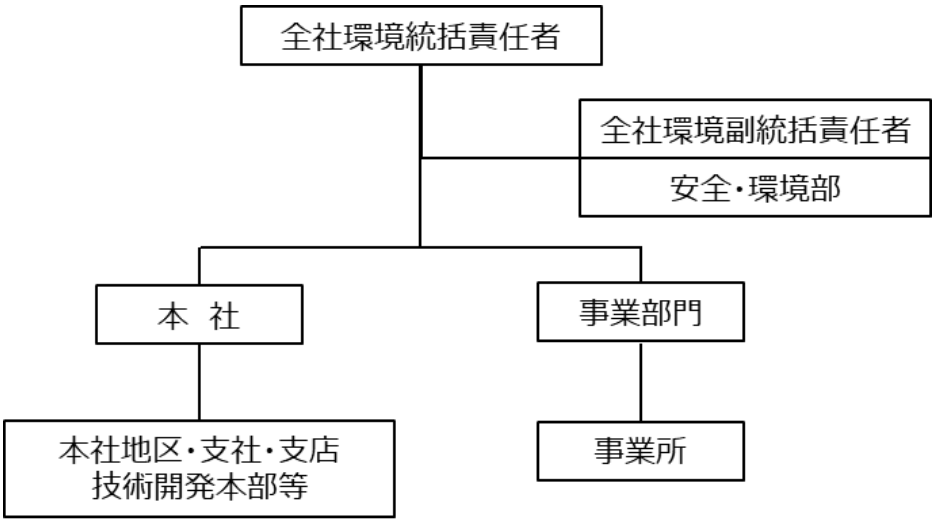


図１．全社環境管理体制

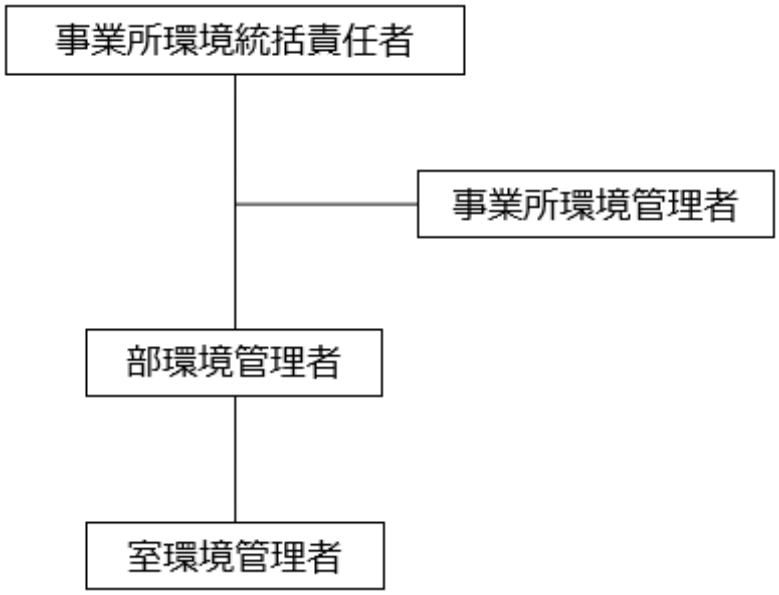


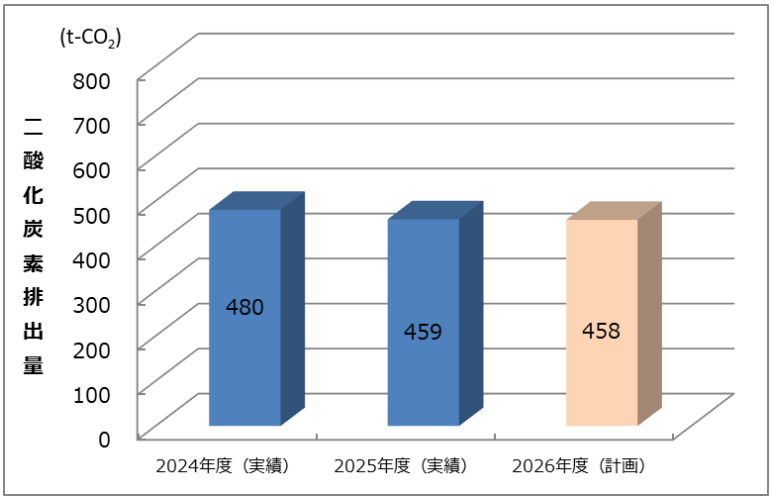
図２．神戸本社地区環境管理体制

3．地球温暖化対策に係る計画（神戸本社地区）

2022 年度より、実質再生可能エネルギー100%の熱エネルギー（冷温水）を購入しています。そのため、熱利用による、CO_2 排出量は 0kg-CO_2 の計画です。

ア）2025 年度の電気・熱・燃料の使用量及び 2026 年度の使用予定量

活動の区分		使用量		単位	排出係数	単位	排出量（kg-CO_2）	
		2025年度 実績	2026年度 予定				2025年度 実績	2026年度 予定
地域熱供給業者からの供給熱量	冷熱/温熱	1,558,665	1,558,000	MJ	0	kg-CO_2/MJ	0	0
電気事業者から供給された電気使用量	電気	1,078,225	1,078,000	kWh	0.415	kg-CO_2/kWh	447,463	447,370
自社所有車で消費した燃料使用量	ガソリン	4,440	4,000	L	2.29	kg-CO2/L	10,168	9,160
	軽油	574	500	L	2.62	kg-CO2/L	1,504	1,310
合　計							459,135	457,840



※燃料の CO_2 排出係数：環境省温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度のものを使用

※電気-CO_2 排出係数：関西電力のホームページより 2023 年度実績のものを使用

イ）2025 年度の CO_2 排出量、2026 年度の CO_2 排出削減目標

温室効果ガス	排出量（kg-CO_2）	
	2025年度 実績	2026年度 計画
酸化炭素（CO_2）	459,135	457,840
メタン（CH_4）	–	–
亜酸化窒素（N_2O）	–	–
ハイドロフルオロカーボン類（HFC）	–	–
パーフルオロカーボン類（PFC）	–	–
フッ化硫黄（SF_6）	–	–
フッ化窒素（NF_3）	–	–
合　計	459,135	457,840

ウ）目標達成のために講ずる措置・対策

措置の区分	具体的対策	削減目標
エネルギーの使用の合理化その他	(a) 脱炭素化した冷暖房用熱エネルギーの利用	継続実施
	(b)執務室の室温を、冷房時：28 ℃ 暖房時：20 ℃を目安として管理の徹底を図る。 (夜間の外気導入システム（エコヴォイド）による省エネ実施)	継続実施
	(c)年間を通して、エコオフィス活動を推進する。全社会報による周知徹底を図る。 ①空調機器の適正管理 ②快適で働きやすい服装の工夫	継続実施
	(d)不要照明の消灯の徹底を継続する。（昼休みの消灯） ※照明は LED 照明を使用 ※トイレ、階段等は人検知センサーによる自動点灯	継続実施
	(e)パソコンの節電を徹底する。	継続実施
	(f)省エネ型の自動販売機を継続利用する。	継続実施
	(g)コピー機等オフィス機器への省エネ機器を継続利用する。	継続実施
	(h)再生可能エネルギーの利用 ビル屋上に設置の太陽光発電設備(20 kW)による発電 年間発電量（推定）＝1,000 kWh/年/kW×20 kW ＝20,000 kWh/年 ※設備能力については、出力力率を考慮したものに変更	20,000 kWh/年 （推定）
	(i)テレワークによる環境負荷の低減 通勤に係る CO_2 削減を図る。	継続実施

４．地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る計画

地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る目標・計画目標達成のために講ずる措置・対策

	措置の区分	項　目	目　標
1	事務所での一般廃棄物の適正処理・減量・再資源化	(a)紙類のリサイクルに努める。	紙類のリサイクル率 2026 年度計画：99.1%
		(b)下記取り組みを実施する。 ・コピー方法の改善、ペーパーレス FAX、ペーパーレス会議等により、コピー用紙使用量を極力削減するよう努める。 ・事務所廃棄物の分別回収を促進する。　等	継続実施
2	事務所での再生製品の使用	(a)下記取り組みを実施する。 ・コピー用紙、トイレットペーパー、名刺などへのグリーン購入対象紙の利用を図る。 ・ファイル等の事務用品を再利用する。 ・事務消耗品を他事業所へ譲渡　等	継続実施
3	プラスチックに係る資源循環等に関する取り組み	対象廃棄物を可能な限りリサイクルするよう努める（努力目標：リサイクル率 8 割）	継続実施
4	自動車対策	(a)自動車への依存の少ない企業活動を推進する。 ・通勤は公共交通機関を利用する。 ・出張や市内移動時には、公共交通機関の活用に努める。	継続実施
		(b)より低公害・省エネルギーな自動車を導入する。 ・エコカーに関する各種情報を収集し、将来の導入に向けた検討を行う。	継続実施
5	従業員教育・啓発 公害防止、省エネルギー・省資源等に関する意識向上	(a)環境法令遵守徹底のためのコンプライアンス教育等を実施する。 ※e-ラーニング：イントラネットを利用した学習システム。ＰＣ端末使用社員のほぼ全てが受講する。	e-ラーニング※を 1 回/2 年実施する （2026 年度実施予定）
		(b)社内報での啓発	環境関連記事の 掲載を実施
		(c)神鋼とグループ会社の全従業員を対象に「エコライフノート（環境家計簿）」を実施する。 【参考 1】を参照	継続実施

6	地域社会への参画	(a) 小学生、中学生、高校生を対象とした、森をテーマにした創作童話のコンテストとして、「森の童話大賞」を実施する。2026 年度は第 14 回目となる。 ※環境保全報告書 【参考 1】ご参照	1 回/年 実施予定
		(b) 森林保全活動に地域社会の一員として参画し、地球温暖化防止や生物多様性の向上などの環境保全に貢献する。 ※環境保全報告書【参考 2】ご参照	4 回/年 実施予定
		(c) 地域への貢献活動として、「神戸こどもエコチャレンジ 21 倶楽部」に参画し、環境教育（児童館出前エコ教育）を市内の児童を対象に実施する。 ※環境保全報告書【参考 3 】ご参照	児童館出前エコ教室 3 回/年 実施予定
		(d) CO_2 削減活動および地域社会貢献活動として、フードドライブを実施する。 ※環境保全報告書【参考 4】ご参照	継続実施
		(e) 神戸市が推進する「神戸登山プロジェクト」に参画し、六甲山系の 70 を超える登山道において、老朽化した施設の安全対策や案内板整備、登山道の整備・メンテナンスなど登山環境の向上にかかる費用の支援を行う。	継続実施
		(f) 神戸市が推進する「こうべ木陰プロジェクト」に参画し、超高温常態化対策として、街の歩道や公園に、木陰を創ることで、都市空間に癒しと快適さをもたらす取組みに支援を行う。	継続実施

【参考 1】

コベルコエコライフノート（環境家計簿）

当社事業に関わる活動以外に、KOBELCO グループ全体として、事業所単位、事業部門横串、社員ひとり一人、が参加する社員参加型 CO_2 削減プロジェクトの一環として活動を行っています。

